

# えくれまん

1

立川と語ろう 立川に生きよう

January 2012

Écoutez Bien Vol.30 No.326



表紙の人

小笠原着物きつけ学院

小笠原寿美さん 二代(錦明)

古の知恵に学んで医食同源

## 身近な素材でお正月



### 〈五色なます〉

#### 材料

大根、人参、キュウリ、きくらげ、柚  
塩、砂糖、

#### 作り方

- ① 大根と人参、キュウリを千切りにする。  
大根も人参も繊維にそって細く切り、キュウリと合わせて塩をしてしんなりさせる。  
塩揉みすると野菜の量が減るので、多いかなと思うくらい準備してちょうどいい。  
白が多めの方ができあがりがきれいなので、  
大根2/3本に対して人参1本、キュウリ2本くらい。
- ② きくらげは水で戻し細く切る。
- ③ 柚の皮も細く切る。
- ④ 塩揉みして水を切った①に、きくらげと柚の皮を合わせて混ぜ、少し砂糖を加えて、  
柚の絞り汁を合わせる。味は家庭の味で整える。

※五行（木火土金水）に合わせた五色（緑赤黒黄白）の彩り豊かな一品です。「今年も元気に」の願いを込めていただきます。白胡麻をかけて召し上がり。

### 〈ほっときんかん〉

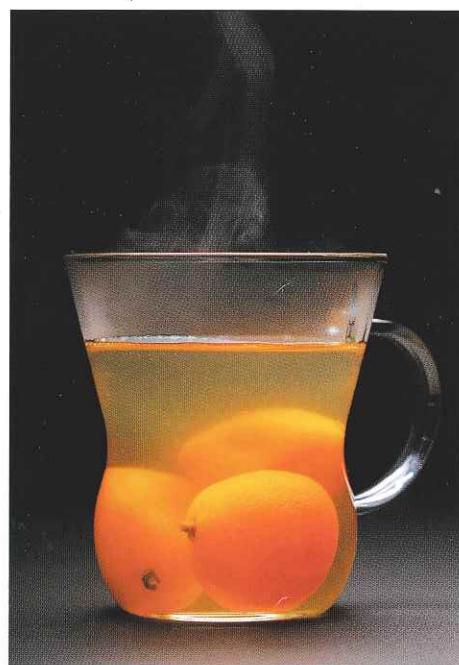
#### 材料

きんかん、水、砂糖

#### 作り方

- ① きんかんを洗って、  
水から火にかける。
- ② 沸騰させないで、  
20分くらい静かに温め続ける。
- ③ 砂糖を加えて、  
温かいうちにどうぞ。

※きんかん独特の香りを楽しみたい方はお砂糖がおすすめですが、はちみつを入れてもおいしいです。冬の家族の団らんに、現代版〈こたつみかん〉かな？



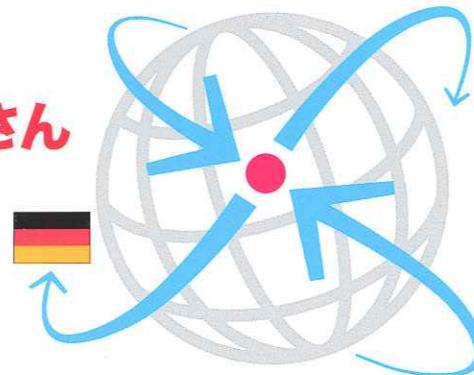
# 可能性を追い続け、人生を編んでいく

柴崎町生まれ、1小、1中出身の立川っ子。

**中島さと子 (Satoko Nakajima-Lopez) さん**

もうドイツ暮らしの方が長くなった。

年に2回日本に帰って来るという親との約束を守ってきたが、認知症になった親は今夏「顔は知っているけれど、どなた?」と尋ねた。日本に戻る約束は、今では親と暮らす姉との約束になったと言う。一時帰国夏、さと子さんの爆発的なパワーを感じたひとときだった。



——中島さんのご親戚には海外で暮らす方が多いそうですね？

**中島** そうですね。全部母方ですが、上海、NY、ロンドン……。中島家は武士の家系で、第二次大戦前に茨城から出てきたのですが、戦後のどさくさで土地を失い立川しか残らなかった。一人娘に婿をとらせてそこを継がせようとしていたのに、一人娘が結核で亡くなってしまった。そこで長野県の農家の次男を養子にして、そこに嫁いだのが母です。だから中島の家とは血のつながりはありません。うちの母の実家は立川北口にあった東という家です。

——そうでしたか。海外で暮らす家系なんですかね？

**中島** 私がきっかけだと思いますよ。さと子ちゃんが行ったから私もいいでしょみたいな感じで。——ドイツでのお仕事は何をなさっているのですか？

**中島** フランクフルト市内でJALの仕事をしていたのですが、今の夫と知り合って夫の会社で働いています。仕事の内容は問屋です。室内のカーテンがメインの。

——ドイツのお宅はカーテンたくさん必要でしょう？

**中島** そう思います？ 確かに居住面積は日本より広いですが、今のジェネレーションで、どのくらいカーテンを使うか考えてみれば、市場の動向がわかりますよ。日本では昨年の夏、遮熱

カーテンが売れたと聞いていますが、日本では遮光するとかプライバシーを護るとか実用的なカーテンの必要性がありますよね？ ドイツにはないですから。ドイツでは30cm先に隣の家があるなんて絶対ないです。

——じゃ、なんのためのカーテンですか？

**中島** まずデコレーション的な意味合い。それから音。音を吸収してはね返さない、響かせないため。それから大きな窓にカーテンがかかるといふと、夜になれば窓はまっ暗なわけです。暗闇を見ていることになる。「暗闇を見ているのはいやでしょう？」と言えば、ああ、なるほどと。カーテンの必要性が日本とは違うんです。若い世代だとひだを寄せるカーテンではなく、パネルのようなカーテン、柔らかいエレメントを入れない物が流行っています。そうなると1軒にまったくカーテンがいらないか、あっても1という必要数になる。ひとつの街でどのくらいカーテンが必要かという売り上げ想定値というのがあるのですが、それが今は以前に比べると1/3以下になっているので、経済的には非常に厳しい世界で、ライバル店がつぶれていくのが日常になっています。

——へえ～。意外です。グリム童話などを想像していたので。でもヨーロッパのアパートなんてカーテンかかっていそうじゃないですか？  
**中島** そうですよね。「たっぷりのカーテンをかけた出窓のある暮らし」みたいな。ヨーロッパは

大富豪と結婚するか、観光で行くのはステキ。でも生活するということはどこでも同じです。アパートなんて窓はひとつぐらいしかなく、マーケットとしてはおいしくない。特にドイツは自分の家にこだわりますし、遮光遮熱なんて「熱い夏が何ヵ月も続くようになったら売れますよ」というフランクフルトのメッセージで笑い話になつたらいい売れないと、夜になれば窓はまっ暗なわけです。

**中島** そう？ 私は若い頃からヨーロッパで暮らしているから全然違和感ないです。道歩いてて、あ、アジア人がいる！って思ったら、ショーウィンドウに映った自分だった(笑)。

——そもそも、なぜ外国に行かれたんですか？



は僕から見ても海外に出たほうが成長できる人だと思う。僕たちの関係が失敗してもこれが外に出ていける良いきっかけになると思う」という言葉でした。結局離婚してしまったんですが、それからは自由に楽しく独身生活を送り、ネットで知り合った今の彼と一緒に成了ったわけですね。だから、日本にいた頃にやりたいと思っていたことは、日本を出る時点で全部捨てました。私は自分の可能性を知りたかったんだと思います。どこまで飛べるのか飛んでみたかった。目的のない旅の、道そのものが目的だったのかもしれません。

——後悔はない？

**中島** 後悔したくない。振り返ってやらなければよかったと言えるのはやったから。やっておけばよかったは、何もしていないから。わがままだけれど、本音に近いところで生きていいんです。消したいものもありますよ。でも、それがなかつたら人生ではないでしょう？ 満足しています。胸を張って生きています。

日本にいる間は貧しい家でもなかったし、親もいるし、好き勝手。一旦家を出て環境の違う中に飛び込んでみると、誰にも頼れない。自分の責任の下に生きて行くわけです。自由です。

——今では当たり前の気もしますけれど。で、海外で何をなさりたかったんですか？  
**中島** 何かをしたくて行ったのではなく、当時日本で知り合った外国人と一緒にドイツに行つたんです。はじめとして結婚しましたが、日本を出る本当のきっかけになったのは、彼の「君

分の自由を認めてもらおうと思ったら、自分が嫌われたり捨てられたり、自分を拒否したりする人がいる。それはその人の自由なんだから、それをアクセプトできなければならない」と言ったんですよ。その通りですよね。

——違う人生を想像してもしょうがないけれど、立川にいたらまったく別の人生でしょうね？ 今の若い人はあまり海外に出たがらないと言われています。海外に出て得たもの、一言でなんでしょう？

**中島** 自分の価値です。言葉も文化も違う中で自分を確立させなければいけない。安易なところで流されて生きていくのと違って本当の自分を探しながら作り上げて来た人生ですから。ドイツに行ってからの自分は好きですね。自分に正直に一生懸命生きているってことで。

——パッチワークのような人生が愛おしくなることがありますよね。最後に、これからは？

**中島** 人生は計画を立ててもその通りにならないのが人生。父親のこととか自分の老後とか、どうなるかわからないことをクヨクヨ考えるより、今を一生懸命生きることが重要だと思います。人間、死ぬ時は死ぬし、生きるときは生きる。子供がいないので、自分の分身を未来につなげられないと思うとちょっと残念だと思うこともありますが、その代わりに今の自由があるわけで、当然その代償として最後の最後まで自分で自分に責任を持っていかなきゃならないというだけですね。



[拡大版]

立川のすごいとこから「謹賀新年」  
今年もえくてびあんをよろしくお願ひ申し上げます

2012年 壬辰

## 立川から見える山

2001年から断続的に掲載してきたシリーズ「立川から見える山」。3回のシリーズを終わって、まとめてみました。  
実は360度のバージョンも。筑波山、スカイツリー、ランドマークタワーも見える立川のすごいとこ。ここは立川一高い場所です。



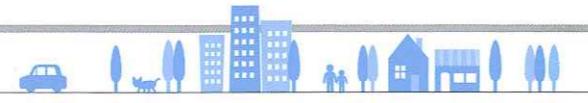
## えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。  
今月は 高松町・曙町のお店です。

高松町  
書籍・雑誌 フレンド書房 ..... 527-1555  
サロン・ケベクア美容室 ..... 527-4716  
HAIR MAKES たしろ ..... 525-2175

曙町  
うなぎ しら澤 ..... 524-5061  
久住ハウジング株式会社 ..... 527-8007  
中国式健康マッサージ 養身堂 528-0366  
不動産 大晋商事 ..... 525-3110  
はじめ治療院 ..... 526-3519  
ヤマハ エブリプラス 立川店 523-1431  
蕪麦 懐石 無庵 ..... 524-0512  
TABACCONIST ゼフィルス 524-0514  
ブティック ASHUTE VENI-VENI 521-1481  
ビストロ シエ・タスケ ..... 527-5959  
あら井鮨総本店 ..... 522-2957  
菊川園 ルミネ店 ..... 526-1688  
たましん すまいのプラザ立川 0120-667-646  
三田花店 ルミネ立川店 ..... 527-5587  
KIRIN COFFEE ルミネ店 527-2322  
立川伊勢屋 ルミネ店 ..... 524-3395  
オリオン書房 ルミネ立川店 527-2311  
オリオン書房 第一デパート店 523-3311  
みずほ銀行 立川支店 ..... 524-3121  
コスメドール 辰巳屋 ..... 524-6051  
エミリー フローラ 本店 ..... 527-1138  
キヤフ クリムト ..... 526-3030  
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888  
TAKE THE HONEY スイーツ 523-8200  
三井住友銀行 立川支店 ..... 522-2151  
レストラン サヴィニ ..... 525-1662  
立川献血ルーム ..... 527-1140  
アートルーム新紀元 ..... 528-6952  
MOTHERS ORIENTAL 528-0855  
たましん 本店 ..... 526-7700  
たましんギャラリー ..... 526-7717  
和食どころ 若草茶屋 ..... 526-0010  
三上鰻舗店 ..... 522-3259  
FMたちかわ ..... 524-0844  
輸入文具 喫煙具 ホワイトハウス 525-8558  
ステンドグラス ばさーじゅ 522-1941  
時計電池交換 BASE26 ..... 548-4326  
はしや ..... 528-2338  
ラ・フランス ..... 529-5522  
萬福食堂 ..... 528-2227  
ピックカメラ 立川店 ..... 548-1111  
Charcoal Dining るもん 527-3022  
飲食店 玉河 ..... 522-2654  
三菱東京UFJ銀行 立川支店 524-4121  
ローソン 立川曙町二丁目店 526-7652  
カフェ アバン ..... 527-4479  
ふるさと多摩てばこ ..... 527-5995  
ダイエー 立川店 ..... 525-0331  
手打ちそば しえ もと ..... 529-5468  
シンポパン ..... 522-6211  
天ぷら わかやま ..... 525-0222  
スペイン料理 ロス・アトロ・ガトス 528-1654  
多摩水族館 ..... 524-0288  
すし魚正 ..... 522-3437  
園部肉店 ..... 522-2901  
Cut Studio SOFIA ..... 528-3241  
Cloud Café ..... 527-1414

## 街の話題



### 浅田次郎氏 立川に!

#### 第11回 応現院文化講演会 開催

「応現院文化講演会」は、真如苑の寺院「応現院」を地域の文化交流の場として活用してもらうことを目的に、応現院文化講演会実行委員会が主催している催しです。第11回目となる今回は、作家 浅田次郎氏を講師にお迎えします。

##### 第11回 応現院文化講演会

「明治維新という革命」

講演者：作家・浅田次郎氏

日時：平成24年2月24日(金) 14時～(講演時間約90分)

会場：応現院(立川市泉町935-27)

主催：応現院文化講演会実行委員会

後援：立川商工会議所・立川観光協会・立川バス株式会社・FMたちかわ

協力：株式会社精神文化映像社・えくてびあん・多摩てばこネット

協賛：真如苑

##### 【お申し込み方法】

聴講希望の方は事前にお申し込みが必要です。下記要項に従って往復はがき、またはインターネットでお申し込みください。尚、お申し込み多数の場合は抽選となります。(定員700名様)

- ① 住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(本人含めて2名まで)を明記し、往復はがきで申込先に郵送。  
申込先：〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F 応現院文化講演会実行委員会

- ② PC、携帯電話によるインターネット応募フォームで申し込む。

<http://www.bunkakouenkai.jp>

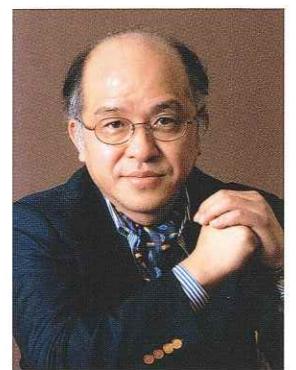
##### 【申込受付期間】

往復はがきの場合は、平成23年12月22日～平成24年1月24日必着

インターネットの場合は、平成23年12月22日午前10時～平成24年1月24日午後5時まで

##### 【お問い合わせ】

TEL 042-523-9898 応現院文化講演会実行委員会



講演者プロフィール

浅田次郎氏

1951年 東京都に生まれる。

1995年『地下鉄に乗って』で第16回吉川英治文学新人賞、1997年『鉄道員』で第117回直木賞、2000年『壬生義士伝』で第13回柴田鍾三郎賞、2006年『お腹召しませ』で第1回中央公論芸芸賞、第10回司馬遼太郎賞、2008年『中原の虹』で第42回吉川英治賞、2010年『終わらざる夏』で第64回毎日出版文化賞を受賞。多彩な作風で多くの読者を魅了し続けている。近著は『マンチュリアン・リポート』講談社、『一刀斬夢録』文藝春秋

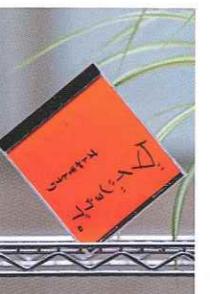
日本ペンクラブ会長  
日本文藝家協会理事

### 立川の新しい顔になりました —石田倉庫

#### オトヤモトナリ デビューCD 「ダイジョウブ」

多摩てばこネットで「多摩検への道」ブログを書いてくれたオトヤモトナリさん。デビューCDが発売されました。

オトヤモトナリ公式ブログ  
<http://otoyamotonari.blog21.fc2.com/>  
お問い合わせ  
オレンジ 03-5411-8051



jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイバーフェクTV: 216ch  
マイ・テレビ アナログ: 11ch  
デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

[www.shinnyo-en.or.jp](http://www.shinnyo-en.or.jp)



### 統計数理研究所に 「統計思考院」設立

立川市緑町といえばアカデミックな雰囲気の漂う一角。国文研展示室や極地研 南極・北極科学館は立川市民にももうお馴染みですが、今回は統計数理研究所。何をしているところ?と聞かれても、形にしてお見せできないので説明にくい。そこで11月2日、「統計思考院」が設立されたというで記念式典に行ってきました。

統計学はいろいろな分野で使われています。身近なところでは様々なアンケートを分析するのもまさに統

計学。でも統計学を専門にする学部はまだ日本の大学にはないのだと。そんな中「統計思考力を備えた人材育成による融合研究の発展を目指して」思考院が設立されました。「異分野の研究者、広範囲の研究領域、大学と大学、産業と学術、学術と一般社会」をつないでいるのが統計学。思考院は、そのつなぐ人材を育成し、さらに現在と未来をつないでいく。すごいじゃないですか!詳しいお話を、えくてびあん3月号「思考院院長、副院長インタビュー」で。

### 「ベニスに死す」上映記念 トークショー——シネマシティ

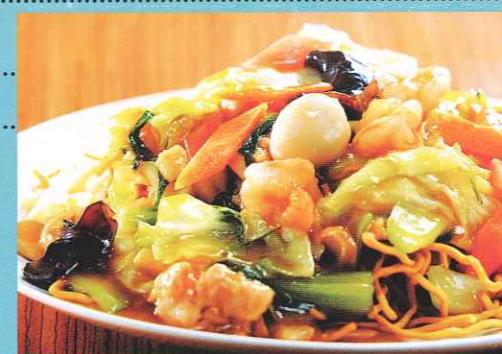
11月26日～12月9日まで、製作40周年を記念して、ニュープリント版でリバイバル公開されていたルキノ・ヴィスコンティ監督の名作「ベニスに死す」。27日初回上映後、公開を記念して行われたトークショーは短い時間ながら、とても深いお話。もう一度映画を観たいと思わせてくれる、さすが欧州映画批評の第一人者・秦早穂子さん。トークショーの詳しい内容は、多摩てばこネット「まちの達人」コーナー1月更新でどうぞ。



### この人 この店 <100>

#### 中国菜館 多味軒

李 献忠さん 李 麗さん



何を注文しても裏切られることのない味。それが多味軒さんの料理です。奥さんの李麗さん「うちは全部手作りだから」とおっしゃいますが、それだけではないみたい。やっぱりご主人の舌と腕がいいのでしょうか。どのメニューを撮影しようかと迷うほど、どれもこれもお勧めしたい。辛い酸っぱいの酸辣湯麺、とろみがあつて体がぽかぽか。野菜タンメンの透き通ったスープは野菜の旨味が溶けいて優しい味。白胡麻担々麺と黒胡麻担々麺はまったく違う味がします。パラッと炒めた炒飯は香ばしくて、おなかがいっぱいなのにセットの半チャーハン、食べ切ってしまいます。水餃子も焼き餃子も何もつけないで食べるが中国風なのとか。言われて食べてみると、プリプリの皮からジュッと肉汁が飛び出して、うん、そのまでおいしいじゃん!エビマヨはサクッと揚がったエビにちょっと甘めの味付けで、これはおつまみにいい感じ。メニューが多い多味軒さん、次回来るのが楽しみです。今度は何にしようかな?



## 表紙の人

小笠原寿美さん、尾嶋律子さん  
尾嶋繁さん、桂介さん、峻介さん  
小笠原貴則さん

40年以上も立川で着物に携わっている学院長 寿美さん。律子さん、貴則さん姉弟も学院の一役を担い、律子さんは八王子に住んでいたり、活動拠点はなぜか立川。尾嶋家のお孫さんも揃って、家族の中心はやっぱり寿美さん。ん?最近は家族の中心をちっちゃな健ちゃんに譲ってるかな?



## かたこと

◆着物はやっぱりいいですね!お正月らしい一枚です。雨になった表紙撮影日、パレスホテルをお借りしました。地元のつながりに感謝です。小笠原家の皆様、パレスホテルの皆様、ありがとうございました。

◆この1月号が最後のお仕事になるスタッフがいます。配布担当のMさんです。えくてびあんは市内約300カ所のお店や公共機関に置いてもらっているフリーペーパー。そこへ毎月新しい号をお届けするのが配布担当。ですからえくてびあんを置いて下さっているお店には、きっと顔なじみの方も多いことでしょう。もう10年以上えくてびあんを配り続けてくれました。もっともっと続けて頂きたのですが、えくてびあんも会社なので定年が。やっぱり「雨の日も風の日も自転車で」はちょっと厳しい。これからはゆっくり読者の立場で応援お願いいたします。本当に長い間ありがとうございました。

◆えくてびあんは立川の皆さんとともに作る冊子です。今年もどうぞよろしくお願い申上げます。えくてびあんスタッフ一同

## えくてびあん ©

1月号 第30巻 通巻326号

平成24年1月1日発行  
発行 有限会社えくてびあん  
〒190-0023  
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
TEL 042-528-0082  
FAX 042-528-0065  
URL [www.tamatebakonet.jp](http://www.tamatebakonet.jp)  
発行人 黒須 環  
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
デザイン 池田隆男  
(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

# えくてびあん 2012年はこんな年!

テーマは〈広がる立川〉です

立川の街と人、人と人をつないで28年。多摩てばこネットは今年11年目に入りました。

最近は立川の街を飛び出して、日本各地からお便りをいただくように。

今年はどこまで広がるかな?



● シリーズ「世界一」は3年目。「Globalization Tachikawa 外から見た立川」です。国際化が進む中「外から見た立川」と題して、海外から立川に来た方々に、あるいは立川から海外に飛び出して活躍する方々にお話をうかがいます。皆さまからの推薦情報もお待ちしています。

「世界一」最初のシリーズは2009年からの極地研でした。南極観測センターが立川にあること、南極観測の継続がどのくらい大切かを知って頂くチャンスになりました。2年経って、今や世の中「南極ブーム」。立川にはすでに「北極」の空気も流れ始めています。2010年秋からのシリーズは国文研。古文書の修復保存の方法や、本につく虫の種類、膨大なデータベースの作り方に、本の流通の仕方、能の見どころ、歌舞伎の世界、大阪松虫のチンチン電車の様子まで、本当に幅広いお話をうかがうことができました。新連載もご期待ください。

● 産直シリーズは農家密着。土地に根ざして都市型農業に取り組む若い世代に目を向けます。同じように地道に取り組み続けるのは、子供を育むお母さんも同じこと。未来の地球を託された少子化時代の子供たち。その子育てを応援するのもえくてびあんの大変な役割だと思います。

● 好評だった「パンのある風景」。シリーズ第2弾がスタートです。今回は公募した原稿でページを構成。私も応募したかった?まだ間に合います。どうぞ原稿をお寄せください。

● 忙しい主婦必見の「えくてびあんレシピ」。30分でできるメニューを今年も継続。頑張ります!

